

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 あやべ福祉フロンティア
評価者氏名（職名）	金川 めぐみ （和歌山大学准教授）
評価対象期間（年度）	平成29年度（平成29年4月 1日～平成30年3月31日）

### 1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 運転部	45%
事業名 清山部	40%
事業名 介助部	15%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### (3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

### (4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

### (5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

NPO 法人あやべ福祉フロンティアの事業活動に関する外部所見は以下の通りである。

定款によると、その活動の目的は「綾部市における市民活動、とりわけ高齢者・障害者・子どもなど、社会的に弱い立場にある人々に対するボランティア活動を様々な形で支援し発展させることで、豊かなまちづくりにつなげること」(定款第3条)である。

平成29年度の事業実施報告書を見ると、この目的にそって、①福祉移送サービスを行う「運転部」、②病院介助ボランティア等を行う「介助部」、③ボランティア交流会等各種企画活動を行う「企画部」、④清山荘の管理事業を行う「せいざん(清山荘)」、⑤さまざまな生活サポートを行う「お助けフロンティア」の事業が実施されており、いずれの事業も本NPO法人の活動意義をよく理解した上で実施されているといえる。

上記5事業の成果であるが、例えば主要事業である「運転部」事業は、平成29年度の利用会員約2,051人、総送迎回数43,576回、実働運転会員約93人と、平成28年度に比べやや回数が下回っているものの、安定的に運営されかつ利用者からの信頼も保たれている。その成果は大きいものといえる。他の事業の成果を見ても、事業運営費に見合った活動実績を上げており成果があると考えられる。

社会に対しての活動成果の発信としては、清山荘の運営管理を行っており、その場を利用して特に綾部市民に対しての情報成果の発信の場につながっているように事業報告書からは捉えられる。また、HP([http://www.ayabe-wf.net/?page\\_id=124](http://www.ayabe-wf.net/?page_id=124))を通じて活動の成果を発信している。記事情報を定期的に新しい情報を発信するような体制に努めていただきたいと前年度指摘したが、その点についてはまだ改善途上であると聞いている。この点はさらに改善をお願いしたい。また貴団体の情報を求めるものはCanpanHPも参照すると思われる。

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1613405214#attached>

こちら更新が途中で止まっているようなので継続しての情報開示をお願いしたい。また、会報については15周年記念などを不定期で発行していると、当該団体からうかがっているが、できれば不定期ではなく、定期的な情報発信が望ましい。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

NPO 法人あやべ福祉フロンティアの法人の運営組織に関する外部所見は以下の通りである。

同法人の理事会議事録、総会議事録、平成29年度事業報告書書類を確認したところ、財務管理の透明性については問題はないと思われる。

また組織運営の体制等も、各種書類を確認したが、いずれも問題はないと確認できた。

情報公開についても、問題なく各種情報は情報公開されている。しかしながら、内閣府に提出されている平成29年度事業報告書は、外部に対して理解してもらえるように記載はわかりやすく工夫されている。しかし写真やデータなどを用いたレイアウトの構成を、もう少し意識したほうが、事業報告書としては適切であると考ええる。

コンプライアンス(法令遵守等)については、同法人の服務規程および会員への研修会の内容を確認した。特に福祉有償運転を実施する事業を有するNPOとしては、安全管理やリスクマネジメントは大事な要素だが、この点は平成29年度の会員研修の中で実施されていることが確認でき、適切に配慮されていると考える。

なお法人の自己評価では、「外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。」の部分が「いいえ」になっている。ただ、結果を反映させるように現在検討中とのことであるので、学識経験者からの外部評価としては、取り組みを進めつつあるという意味で今後の改善ができる体制にあると判断して「はい」にチェックを行った。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
内閣府に提出されている平成 29 年度事業報告書は、外部に対して理解してもらえるように記載はわかりやすく工夫されている。しかし写真やデータなどを用いたレイアウトの構成を、もう少し意識したほうが、事業報告書としては適切であると考えます。	外部評価の指摘をいただき、次年度以降、写真やデータを入れた事業報告書を作成できるよう努める。

### 備考（審査委員会のコメント）

--

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人花山星空ネットワーク
評価者氏名（職名）	太田耕司（京都大学大学院理学研究科教授）
評価対象期間（年度）	平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

### 1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合，基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に 3 件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 天体観測体験教室事業	28%
事業名 天体観望会事業	20%
事業名 刊行物や HP による情報発信事業	20%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### (3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

### (4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

### (5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

### (1) 活動の意義

(イ) 天体観望会、(ロ) 天体観測体験教室、(ハ) 刊行物や HP による情報発信・提供、  
(ニ) 天文科学振興の為の講演会の 4 事業を中心に、活動を継続している。イベントへの参加者も多く、社会貢献度の高い活動であると判断される。また、天体観望会の観望指導や案内役を務めるボランティアが多く（毎回 20 名程度）、彼らにとっても生涯学習の場となっているようであるので、この点でも意義のある活動となっている。特に、平成 29 年度には、アメリカ皆既日食観測ツアーを開催し、その一環として事前学習会を何度も開催し、また科学的観測を成功させ、帰国後も解析を続けて行うなど、会員による研究活動が継続して行われている点も評価したい。

### (2) 社会への発信状況

上記の事業の実施に当たっては、会員だけではなくホームページや新聞紙上などで広く一般市民にイベント開催情報を発信しているため、その結果、イベント参加者の中、会員以外の市民と青少年が半分以上を占めている。

事業の認知度は年々市民の間に広がりを見せており、宇宙科学・自然科学に親しむ場として、多くの市民や青少年の参加が得られていると判断される。

### (3) 地域団体との連携の状況

京都大学理学研究科附属花山天文台の特別公開や野外コンサートなどのイベントにボランティアを供給して協力している。また、京大の学生邦楽演奏サークルである「叡風会」と連携して、天体観望会と音楽会を組み合わせるなどの交流を積極的に行なっていることも評価できる。

### (4) その他所見・提言

定款 5 条 (1) 4) にある教育関係者の研修事業を行なう可能性の検討をしてもよいかと思う。小・中・高校の教員に望遠鏡の操作方法や天体観測方法を講習し、各学校で実践する手助けになればよいのではないかと。

### 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性, 組織体制の状況など

(1) 財務管理の透明性

事業報告書、会計収支計算書、財産目録、貸借対照表などがホームページ上に公開されており、透明性が保たれている。

(2) 組織体制の状況

(イ) 理事会の開催について

平成 29 年度には、第 38 回 (29 年 4 月 27 日 (木))、第 39 回 (29 年 5 月 8 日 (月))、第 40 回 (29 年 7 月 3 日 (月))、第 41 回 (29 年 12 月 25 日 (月))、第 42 回 (30 年 3 月 12 日 (月)) と、5 回の理事会が開催され、議事録も作成されており、理事会は正常に機能しているといえる。

(ロ) 総会の開催について

平成 29 年には、第 10 回通常総会 (29 年 6 月 18 日 (日)) が、書面表決者を含む過半数の正会員が出席して開催され、28 年度事業報告、28 年度会計収支報告、29 年度事業計画、29 年度予算計画などの理事会案が承認可決されている。正式な書式に従った議事録も作成されている。

(ハ) 監事による監査について

通常総会に先立って、2 名の監事が会計収支および財産管理に関する監査を実施した上で、その結果を総会で報告している。

(ニ) その他所見・提言

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
定款5条（1）4）にある教育関係者の研修事業を行なう可能性の検討をしてもよいかと思う。小・中・高校の教員に望遠鏡の操作方法や天体観測方法を講習し、各学校で実践する手助けになればよいのではないか。	平成19、20、21年には、科学技術振興機構の助成金を受けて「理科教員指導力向上研修」を行ったが、それ以後は行っていないので、今後再び行う方向で、助成金の獲得方法などを検討して行きたい。

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人環境市民
評価者氏名（職名）	折田泰宏氏（弁護士）、宗田好史氏（京都府立大学教授）
評価対象期間（年度）	平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

### 1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合 <sup>※</sup>
事業名 環境首都創造プロジェクト	46%
事業名 グリーンコンシューマー・持続可能な消費プロジェクト	33%
事業名 環境共育	21%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### (3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

### (4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

### (5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

- ① 長年の取り組みによって、活動実績は日本の環境 NGO としてかなりの社会的影響力のある存在となっている。例えば環境首都創造の活動なら、自治体の首長と対等な立場でディスカッションできるほどに、組織としての信頼度や価値を高めてきたといえる。
- ② NPO を取り巻く環境の変化は、社会の状況が変化したことによっても影響を受けている。例えば、60 歳以上の労力をどう活用するのか、産休・育休明けの女性の活用、AI 普及による働き方の変化など。社会ではすでにセカンドジョブの動きが出てきているが NPO もきちんとこのような変化を活かしていくことが必要。また、日本社会のさまざまな組織を担う世代も、団塊世代から団塊ジュニア世代へとシフトが起こってきている、NPO でも中心を担う世代が 30 代後半から 40 代前半へと変化してきており、その世代がうまく活躍できる場をつくることで、政策決定や市場を変えていく力にできる。その層を活動の力とするためにはどうすればいいのか見極めなければいけない。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

- ① 30 代後半から 40 代前半の世代は、生き方のスタイルを変えてきている。まちから田舎へと住まいを移す人もいて、戦後日本で続いていた、農村からまちや都市に向かっていった流れが変わってきている。また、郊外の一戸建てではなく、まちの中心への回帰も起こっている。このような人の流れの変化によって NPO の今後のスタイルも変化していくはず。例えば、NPO が便利な都心部で高い家賃を支払いながら、フルタイムスタッフを雇用し、対企業、対行政への信頼感を築いてきたモデルは、ぼつぼつ見直してもいものではなかろうか。欧米では、人口が減ってきた地域にある管理するのも大変な教会を、NPO が拠点として使いながら管理するという例や、公共施設の管理を請け負いながら活動の拠点としている例もある。環境市民もこれからやってくるであろう社会の動きを先によみ、行政、地域で維持できない公共施設やお寺、神社などを拠点とし活用しながら家賃のランニングコストを下げるということも考えてはどうか。また、家賃の高い都心部でなく環境市民の活動がイメージできる自然環境の豊かな場所についても検討してもいいのではないか。
- ② 全国市民オンブズマン連絡会議では、「包括外部監査報告の通信簿」を毎年発行するという地味な活動について、クラウドファンディングを毎年実施している。クラウドファンディングを継続的に行うことで寄付収益を着実に集めるだけでなく、同時に認知度を高めることにも繋がっている。現在、環境市民がすすめている「持続可能な消費」推進事業の「企業のエシカル通信簿」や環境・エシカルな商品の情報や商品背景がわかる「ぐりちょ (Green&Ethical Choices)」活動は、クラウドファンドで見返りがなくても寄付を集められる活動ではないか。これまで以上に積極的にクラウドファンドを活用することを検討してもいいのではないか。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p>NPO を取り巻く環境の変化は、社会の状況が変化したことによっても影響を受けている。例えば、60 歳以上の労力をどう活用するのか、産休・育休明けの女性の活用、AI 普及による働き方の変化など。社会ではすでにセカンドジョブの動きが出てきているが NPO もきちんとこのような変化を活かしていくことが必要。また、日本社会のさまざまな組織を担う世代も、団塊世代から団塊ジュニア世代へとシフトが起こってきている、NPO でも中心を担う世代が 30 代後半から 40 代前半へと変化してきており、その世代がうまく活躍できる場をつくることで、政策決定や市場を変えていく力にできる。その層を活動の力とするためにはどうすればいいのか見極めなければいけない。</p>	<p>具体的な手法について今後検討したい。</p>
<p>30 代後半から 40 代前半の世代は、生き方のスタイルを変えてきている。まちから田舎へと住まいを移す人もいて、戦後日本で続いていた、農村からまちや都市に向かっていった流れが変わってきている。また、郊外の一戸建てではなく、まちの中心への回帰も起こっている。このような人の流れの変化によって NPO の今後のスタイルも変化していくはず。例えば、NPO が便利な都心部で高い家賃を支払いながら、フルタイムスタッフを雇用し、対企業、対行政への信頼感を築いてきたモデルは、ぼつぼつ見直してもいいのではなかろうか。欧米では、人口が減ってきた地域にある管理するのも大変な教会を、NPO が拠点として使いながら管理するという例や、公共施設の管理を請け負いながら活動の拠点としている例もある。環境市民もこれからやってくる</p>	<p>組織としての世代交代のための準備をすすめており、環境市民の活動がしやすく、ふさわしい組織とはどのようなものなのかを議論しているところ。事務所の固定費の中で、家賃は大きいこともあり、そこにあることで環境市民を表現できるというような場所・環境に事務所を置くというのも有効かもしれない。提言いただいた内容も含めて考えを深めていきたい。</p>

<p>であろう社会の動きを先によみ、行政、地域で維持できない公共施設やお寺、神社などを拠点とし活用しながら家賃のランニングコストを下げるということも考えてはどうか。また、家賃の高い都心部でなく環境市民の活動がイメージできる自然環境の豊かな場所についても検討してもいいのではないか。</p>	
<p>全国市民オンブズマン連絡会議では、「包括外部監査報告の通信簿」を毎年発行するという地味な活動について、クラウドファンディングを毎年実施している。クラウドファンディングを継続的に行うことで寄付収益を着実に集めるだけでなく、同時に認知度を高めることにも繋がっている。現在、環境市民がすすめている「持続可能な消費」推進事業の「企業のエシカル通信簿」や環境・エシカルな商品の情報や商品背景がわかる「ぐりちょ (Green&amp;Ethical Choices)」活動は、クラウドファンディングで見返りがなくても寄付を集められる活動ではないか。これまで以上に積極的にクラウドファンディングを活用することを検討してもいいのではないか。</p>	<p>「持続可能な消費」推進事業については、クラウドファンディングを活用する予定でいる。確かにリターンがなくても応援してくれる層はあると思われる。ネットワークは北海道から沖縄まで40団体が参加しており、クラウドファンディングで寄付を集める手法に長けた団体もメンバーにはいる。ネットワーク団体がそれぞれの地域で、それぞれの対象に呼びかけることで広く周知が可能になる。最近では若い層にフェアトレードやエシカルへの関心も高まってきていることから成功するだろうと期待している。</p>

**備考（審査委員会のコメント）**

（審査委員会に報告後、当方で記載します。）

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

1-②の添付書類

評価対象法人	特定非営利活動法人 加茂女
評価者氏名（職名）	藤井 透（同志社大学教授）
評価対象期間（年度）	平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	叙 <input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 竹林整備活動と筍利用	55%
事業名 広報活動	30%
事業名 アルミ缶回収事業と寄付	15%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**(3) 情報公開について**

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

**(4) コンプライアンス（法令遵守等）について**

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

**(5) 外部評価について**

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

1)

「加茂女」の活動は南加茂台ニュータウンに引っ越してきた女性たちが集まり、自分たちの生活向上のために出来たサークルであったと聞いたが、アルミ缶回収をし、その売上金を社会福祉協議会に寄付する他、毎月1回4500部発行の「加茂女つうしん」などミニコミ誌で情報発信をし続け、毎回「あげます・ください」コーナーなどでの不用品交換も行っていて地域になくてはならない存在になっている。正に地域活動に貢献してきた30数年であると評価する。

2)

放置竹林整備などの環境保全運動を始め、伐採竹の活用で「筍お焼き」や「筍するめ」「筍ジャム」「筍ジェラート」「筍瓶詰め詰め合わせ」「筍グラッセ」等と日々目新しい筍の食べ方の研究開発に取り組み、竹製品を食器にしてのランチやカフェ運営に取り組み、その調理方法などのレシピも公開しているなど、女性らしく食品開発を進めてきているが、今年度からは、チップーを購入したり開放窯での竹炭作りに取り組みなど、どうすれば竹や筍が採算ベースにのる事業化が出来るかの模索を続けていて、まさに竹と筍の利活用の発信基地になっている。

3)

また、竹や筍を市の特産物にする活動を展開する中で、商品が市の「ふるさと納税」の商品に選ばれたり、「ふるさと創生事業」の委託先に成ったりと、市との連携も進んできている。また、商工会の運営する「木の津」や民間の「じねんと市場」また京都府の「あじわい館」に商品を委託販売して頂くなど、順調に事業を進めてきている。

4)

29年度は、「あすの日本を創る協会」から総理大臣賞を受賞する等、ますます存在感を伸ばしてきている。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

1)

事務員が常駐し、日々の金銭の出し入れについても適正に管理されている。

2)

隔月に行われている理事会で活動方針が決められていて透明性も確保されている。

3)

27年度から税理士を入れての決算を行い高度な会計処理になっていると考える。

京都市左京区岩倉花園町541-11

藤井 透

京都竹カフェ代表・同志社大学工学部教授

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
事業をどのようにして採算ベースに乗せていくかが課題であると考え。引き続きの努力を期待する。また、寄付金集めにも努力が必要であると思う。	めげずに努力はしていく。寄付については考えていきたいが、今年度は会員の増強に力を入れた。

### 備考（審査委員会のコメント）

--

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人フォーラムひこばえ
評価者氏名（職名）	浜岡 政好（佛教大学 名誉教授）
評価対象期間（年度）	平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

### 1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合，基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に 3 件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 ひこばえ事業	10%
事業名 児童館・学童保育事業	40%
事業名 放課後等デイサービス事業	40%
事業名 就労継続支援B型事業	10%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
---	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### (3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

### (4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

### (5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

### (1) 活動の意義・成果等

定款の目的を具現化するために、基幹事業として、これまでの①ひこばえ事業（自主事業）、②児童館・学童保育事業、③放課後等デイサービス事業に加え、平成29年4月より④就労継続支援B型事業に取り組んでいる。これは放課後等デイの終了者のニーズに応えたものであるが、まだ事業としては軌道にのっていない。さらに利用者を増やすことや、利用者の仕事の仕方を工夫するなどの課題があると思われる。とはいえ、事業の拡大等によって、定款に謳われている「住民主体の安心で安全なまちづくりを促進し、地域福祉の向上に貢献する」ことに意欲的に取り組まれていることは評価することができる。

### (2) 社会への活動成果の発信

社会への活動成果の発信は、ホームページ、機関紙「フォーラムひこばえ」、月刊の「うたの・ひこばえじどうかん」便りなどによって行われている。特に月刊の「うたの・ひこばえじどうかん」は、自治連の理解を得て、地域住民に広く届けられているが、ICT化の動きのなかでHPの強化が課題になっていた。この間、広報委員会を設置し、本部のHPを立ち上げるとともに、他の事業のHPともリンクするなど改善が進められた。

### (3) 他団体等との連携

「宇多野ケア会議」「右京区地域福祉推進委員会」への参加をはじめ、法人の事業や活動によって地域の諸団体との連携が広がってきている。それは地域福祉の基幹となる担い手である地域諸団体と連携を強化することが、法人の地域福祉の向上に貢献する上でも重要であるからである。また法人の事業や活動に対する地域の人びとの理解や共感を広げていくためには、さらに多くの連携を広めていくことが求められる。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

### (1) 財務管理の透明性

総会において、決算報告書、監事監査報告書等が審議され、議決されており、財務管理の透明性は確保されている。

### (2) 組織体制の状況

#### ①理事会・総会

理事会、総会等の機関運営については、定款にもとづいて適切に審議・意思決定が行われている。

#### ②監事監査

監事は第三者性、公正性を確保して、定款通りに職務を執行している。

#### ③事務局体制

法人の事業拡大にともなって、事務量が急激に増大してきており、理事会を支える事務局体制の確立が喫緊の課題となっている。会計、労務、広報などの業務を滞りなく行うために、今年度から2名体制への移行が課題となっている。また併せて法人スペースの確保も課題となっており、名実ともに法人事務局の強化が求められている。

#### ④職員体制

事業拡大に伴う職員の増加に対応した各種会議の定期的開催や報告書による情報の共有、職員間の連絡用システムの構築などマネジメントの改善が大きな課題となっている。また拡大した事業に見合った人材の確保・育成も喫緊の課題となっており、事業の継続のためには事業の魅力を発信し、新たな事業や活動の担い手を確保する活動とともにすでに働いている職員に対する研修をさらに強化する必要がある。

#### ⑤危機管理

災害等が多発しており、利用者・職員の安全性の確保、事業の継続性の上からも危機管理体制がこれまで以上に求められている。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p>平成 29 年 4 月より④就労継続支援 B 型事業に取り組んでいる。これは放課後等デイの終了者のニーズに応えたものであるが、まだ事業としては軌道にのっていない。さらに利用者を増やしたり、利用者の仕事の仕方を工夫するなどの課題があると思われる。</p>	<p>昨年度は開所間もない事業所であることもあり、職員連携が十分でなかったり、法人のミッションが事業所の方法論に活かされていなかったりした。今年度は少しずつであるが利用者が増え、事業が安定してきたので、ようやく職員数も増え、職員集団が形成され、支援について充実した議論、実践が可能になってきた。今年度の途中では重度の方の受け入れが可能な生活介護を併設させる予定であるが、事業所職員と事務局で中期的な目標設定を共有し、取り組んでいきたいと考えている。</p>
<p>法人の事業や活動に対する地域の人びとの理解や共感を広げていくためには、さらに多くの地域団体との連携を広めていくことが求められる</p>	<p>フォーラムひこばえ開所から 14 年を経過したが、地域の中ではようやく「ひこばえ」という存在が知られてきた段階といえる。宇多野学区の中には約 10 団体の地域団体があり、住民の代表としての地域団体との協力関係は、引き続き行事参加という形で進めていきたいが、一歩踏み出して、行事参画も考慮していきたいと考えている。また、ひこばえ事業や児童館の利用者に関しては、8 割以上宇多野学区民が占めているので、そことのさらに深い関係づくりや、ニーズの吸い上げの点で、事業所、法人事務局が連携して行っていきたい。さらに就労支援事業所の作業の中で、地域貢献できるような作業を展開していきたいと考えている。</p>
<p>法人の事業拡大にともなって、事務量が急激に増大してきており、理事会を支える事務局体制の確立が喫緊の課題となっている。会計、労務、広報などの業務を滞りなく行うために、今年度から 2 名体制への移行が課題となっている。また併せて法人スペースの確保も課題となっており、名実ともに法人事務局の強化が求められている。</p>	<p>法人事務局スペースに関しては、本館 2 階にスペースを確保し、保管庫を設置し、資料などを整理している段階である。</p> <p>事務局員の体制については、今年度より放課後デイ指導員と兼務の職員を法人事務局に配置し、1.5 名体制で業務を行っている。現時点では</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①0.5 名人員の増えた体制での業務分担の整理と遂行</li> <li>②業務の整理とマニュアル化</li> <li>③業務委託作業などの検討</li> </ol> <p>が課題となっている。</p>
<p>災害等が多発しており、利用者・職員の安全性の確保、事業の継続性の上からも危機管理体制がこれまで以上に求められている。</p>	<p>危機管理体制の確立については、月 1 回の防災、環境会議の設定により取り組んでいる。主には防災訓練の企画実施や防災倉庫備品の購入、リスク回避のための環境整備であり、4 事業所が協力して安全管理に努めていきたい。また当事業所は民家利用型の事業所であり、風情はあるが近年の耐震構造化の進んだ建物には程遠い。事業拡大に伴い、施設建物の整備が喫緊の課題になっており、そのための資金調達を始めるところである。</p>

さらに苦情処理については事故や苦情があれば管理職を中心に協議して複数意見を集めて対応している。また事故や苦情の経過記録と検証、ヒヤリハットの記録を行い、各事業所会議、施設長会議、さらには全職員会議で再発防止のための議論を行っている。

職員1人ひとりの自覚を促すため、研修の開催や定期的な職員ヒアリング、会議での迅速かつオープンな検証を行っていきたいと考えている。

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人アレルギーネットワーク京都びいちゃんねっと
評価者氏名(職名)	杉岡 秀紀 (福知山公立大学地域経営学部准教授)
評価対象期間(年度)	平成 29 年度 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

### 1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	■	□	■	□
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	■	□	□	■

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
■	□	■	□

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 食物アレルギーサポートデスク	50%
事業名 アレルギー大学及び出張アレルギーの学び舎	30%
事業名 つどいの広場	15%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	□	■	□
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	■	□	■	□
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	■	□	■	□

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	□	■	□
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	■	□	■	□

決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
---	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

本法人は、平成 15 年の任意団体設立以降、10 年以上の献身的な事業活動が評価され、その認知度及び影響度は確実に広がってきている。

とりわけ平成 29 年度については、①総会のオープン化（アレルギー対応食のランチ、子ども企画なども実施）、②『子育て支援からの食物アレルギー支援』の発行、③食物アレルギー相談援助研究会を新規事業として立ち上げることを決定、他方、これまでの中心事業の 1 つであったアレルギー大学事業を目的の違いから縮小することを決定するなど、本法人の「当事者支援」「支援者支援」「社会的理解」という目指す社会像と時代変化に照らし合わせた柔軟かつ戦略的な意思決定をしていることを特筆すべきであろう。

そして、そのことが平成 30 年度の総会で確認された「法人名称の変更」および「役員の変更」に結実していることができた。なお、法人名称の変更については、「教える側と教わる側」との関係性の固定化からの脱却やアレルギー団体との分かりにくさ、また正式団体名の冗長さなどからの長年の懸案事項であると同時に、この点については昨年度の外部評価でも指摘した事案であった。そのため、外部評価に対して真摯に向き合う姿勢も含めて、組織のガバナンス力が向上している様子が窺い知れる。

その上で、さらなる事業発展を望み、以下の 2 点をぜひ内部で検討されたい。

### (1) 認知度の向上について

前述の通り、平成 30 年度より「FaSoLabo 京都」に法人名が変更となった。このこと自体はこれまでの経緯からすると念願であり、歓迎したいことである。しかし、このことは、翻せば「びいちゃんねっと」としての認知度を使えないということでもある。本指摘は時間が解決すべき問題でもあるが、「社会的理解」を重視する団体でもあり、一早く「びいちゃん＝FaSoLabo 京都」という認知を得られるよう、様々な工夫を期待したい。

### (2) 中期計画の策定について

昨年度までは断続的かつ断片的ではあるが議論がなされてきた「中期計画」については、平成 29 年度も議論が継続され、「Annual Report」でも「中長期計画」として収録されている。しかし、事務局長へのヒアリングによればまだ事務局レベルでの共有にとどまっていることが分かった。この点については、京都府内における当該分野の嚆矢であり、リーダー的（背中を見られている）存在である本法人のポジションを鑑みれば、やはり理事会や総会レベルでもっと熟議を重ね、数値も入れた中長期計画として公式に公開および共有されるべき事項と考える。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

### (収入項目の多様化と借入金の返済について)

現在の収支状況において受取助成金および受取補助金の割合は約 8 割を占めており、これはやや外在的収入に偏り過ぎる印象がある。受託助成金や補助金を継続的に獲得できるのであれば、大きな問題ではないが、やはりこれらは政治にも左右される不安定な財源である。したがって、事業収入を得ることは容易ではないが、会費や寄付なども含め、もう少し内在的な収入の比率を高められるよう収入項目の多様化を目指すべきではないだろうか。

また合わせて設立者（現理事）である小谷氏への借入金についても、行政事情による一時立替金の必要性という事情は理解できるものの、法人化している以上は、やはり個人として建て替えるのは不適切である。この点は法人のマネジメント、ガバナンスの観点から改善されるべきであると考えられる。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p><b>【全般（昨年度）】</b></p> <p>(1) 情報発信については「びいちゃんほっとニュースレター」や啓発のための冊子、facebook など多様な媒体があり、精力的に取り組まれている。またHPもニュース性のある記事の更新のほか毎年度の事業報告や決算報告のための資料が確実にアップされており、情報公開も適切と言える。しかし、監査の観点から言えば、HPの監事名のところが「金融担当者」となっている。これは実名で公開すべきではないだろうか。</p>	<p>監事の板橋氏は、信用金庫の役員を努めており、中小企業を診断し厳しい業務判断も実施する立場にある。その為、遺恨を持たれることもあり、日頃から勤務先からも生命についての危機管理を云われている。その為、実名の表記は顔の見える手渡しの範囲法人パンフレットまでに止め、不特定多数の人が見る、ネットでの公開は避けたいという申し出があり、理事会でもその旨、了承した。</p>
<p>(2) 「アレルギーネットワーク京都びいちゃんねっと」という名称はやや冗長であり、また「びいちゃんねっと」と略されると何をしている団体か一見分からない印象を与えている可能性がある。他方でここ10数年の活動により、ようやく名称が定着してきた側面もある。その意味では、理事会でも議論が続いているように、結論を出すのは容易ではないと思われるが、スタッフ側も利用者側も納得できるまで引き続き熟識を重ねて欲しい。アイデアとしては、正式名称と愛称を分けて議論し、愛称として「びいちゃんねっと」という名称を残すという考えもあり得よう。</p>	<p>数年前からの懸案事項でもあった法人名を、理事会・事務局で2017年度は改めて時間をかけて検討した。</p> <p>これまで実施してきた事業・今後の法人の目指す将来像から、新法人名の決定ができた。</p> <p>また、「びいちゃんねっと」という名称を、通称として移行期間の措置として残すことも決定した。</p> <p>これからの事業・活動は、新規事業の開始もあり、新たな名称で新たな局面へと展開するにふさわしい名称であることを役員・スタッフ全員で自負している。</p> <p>今後は、新法人名の周知とともに法人の目指すものを合わせて語っていきたいと考えている。</p>
<p>(3) 本法人の活動及び提供されるサービスは、都市部だけでなく、人口減少が進む地域（京都で言うならば府北部や南部）でも必要な公共性の高いサービスである。とはいえ、この分野はかなり専門的な知識やネットワークも必要であり、現行の舞鶴と京田辺以外に拡張することは容易ではないだろう。そこでそうした団体（あるいは事業）の立ち上げ支援を模索しつつ、たとえばアレルギーに配慮した給食づくりやアレルギーを持つ子どもや大人居場所づくりなど、行政や教育機関でもできることを増やすためにも、たとえば総務省の行政相談委員制度などを活用し、全国的な行政課題を克服する道も模索するのも一案ではないだろうか。</p>	<p>行政相談員制度の利用はできなかったが、「子育て支援からの食物アレルギー支援」の調査報告書を作成したことで、自治体アプローチに客観的指標を示せるようになった。</p> <p>それにより、地域子育て支援拠点事業での食物アレルギー対応の運営について、福祉医療機構の国庫補助金モデル事業に採択されたり、日本財団による食物アレルギー支援の全国調査へとつながった。</p> <p>地域での活動が、ソーシャルアクションへと広がりはじめ、全国での食物アレルギー支援への指針が示すことができると期待している。</p>
<p><b>【財務（昨年度）】</b></p> <p>(1) 理事会の議事録は概ね定款通りに作成されているが、総会に比べて、理事総数や出席者数、議決の結果等書き方がやや粗い。今後は総会のレベルで揃えるべきではないだろうか。</p>	<p>理事会・総会ともに、議案書・議事録の記述を形式に沿ったものにした。</p>

<p>(2) 中期計画については、パナソニック NPO ファンドの組織診断でも課題として指摘され、外部コンサル提案の中長期計画案までは策定されている。ただしこの案を理事会でしっかりと議論し、自分たちの手(言葉)でオーソライズするところまでは至っていない。引き続き理事会メンバーを中心に検討を重ね、利用者や支援団体等にも見える化できるよう検討されたい。</p>	<p>2017年度事業報告書の中に、「中長期計画」のページを設け、事務局で検討した法人の将来像を掲載した。法人理念のもとに、各事業について実施した結果・期待する成果・社会的影響を一覧表にまとめることができた。しかしながら、具体的な数値を挙げるには至っておらず、2018年度の課題として理事会・事務局で引き続き検討を重ねていく予定である。</p>
---	--

**備考(審査委員会のコメント)**

--

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人京都 DARC
評価者氏名（職名）	松田 美枝（京都文教大学臨床心理学部准教授）
評価対象期間（年度）	平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

### 1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合、基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に 3 件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合※
事業名 回復支援事業	80%
事業名 予防啓発事業	10%
事業名 家族ケア	10%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】 定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供—介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

利用者の日々の活動支援やグループホーム運営、刑務所訪問やフォーラムの実施、地域の祭りへの参加やボランティア活動など、多岐にわたって活動しておられ、社会貢献の度合いは高い。何もないところから設立して早や十数年が経過し、京都になくなくてはならない施設になった。社会からの要請に応じて様々な場で活躍されている姿は頼もしいかぎりである。

ただ、社会から要請された事業に追われるようになってくると、当初の志が見失われることも多いものである。回復を望むひとりひとりの仲間へのサポートを丁寧に行う姿勢こそ、当事者運営施設の最大の魅力であると思われるため、どれも必要な活動であるとは思いますが、施設の在り方や優先順位を改めて整理してみられることをお勧めしたい。

また、グループホーム建設に当たっては、住民の強い反対運動に遭うなど、困難に直面しているものと思われる。そのような時にこそ、多くの社会貢献活動をして築いてきた関係を活かし、他者を頼る力が必要となる。社会からの要請に応えるばかりでなく、上手に頼れる相互関係を身につけていくことが、今後の課題であるようにも思われる。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

財務管理は透明性が保たれており、必要時には税理士や弁護士などに相談して判断を仰ぐなど、適正な処理がなされている。また、理事会や総会なども手続きを踏み、正しく運営されている。当事者運営施設では組織体制や財務管理の杜撰さが問題となることがよくあるが、京都ダルクにおいてはそのような問題点は見当たらず、むしろ一般の事業所よりも公明正大さが保たれていて、信頼のおける法人であるといえるだろう。

ただし、見方によっては良く出来すぎているともいえる。設立から十数年経過した今、当事者運営施設ならではの自由さや裁量の幅が失われていないか、設立当初の生き生きした活動が今も新鮮さを保って行われているか、改めて見直す必要があるようにも思われる。社会にとって望ましいことや、非アディクトである支援者が望ましいと考える組織運営の方に引っ張られ、当事者運営施設としての当事者性が損なわれてはいないだろうか。つまり、現在の在り方は本当に当事者が望んでいる法人の在り方なのだろうか、ということである。今一度、検討して頂きたいと思う。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況(今後対応する場合は対応予定)

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
施設の優先順位	ご指摘があった当法人の事業の優先順位に関しては、私たちが「1番大切にすべきことを大切にできているか」は時折確認する必要があることと考えています。また検討したいと思います
他機関との相互関係	グループホーム建設に関してだけでなく、積極的に他機関と相互支援関係を築いていきたいと考えています。
組織運営のありかた	当法人は、当事者性を非常に重要なものだと考えています。今後も、当事者性を大切にする運営のあり方について検討していきたいと思ひます

備考(審査委員会のコメント)

--